

USBブート型シンククライアント

Virtual Connect



- 在宅ワーク
- モバイルワーク
- サテライトオフィス

USBブート型シンククライアント**Virtual Connect**は、専用のUSBメモリ（起動USBメモリ）を使用してPCを起動することにより、PCをシンククライアントとして利用できるソリューションです。

自宅や外出先など社外*からVPNを経由して会社内のPCに接続、リモートデスクトップクライアントとして動作します。

また、**Virtual Connect**で起動したPCからお客様のMicrosoft Teams、Zoom環境へ接続して、Microsoft Teams、Zoomを使用することもできます。

Virtual Connect 特長

- PCとVPN環境があれば、シンククライアント環境を簡単に導入出来ます。
- USBから起動出来るPCがあれば社外*から会社内のPC環境を利用出来ます。
- 専用の起動USBメモリでPCを起動して会社内のPCと接続。起動USBメモリで起動したPCのHDD・SSDへはデータを保存させません。

高いセキュリティ
使いやすい操作性



企業の課題

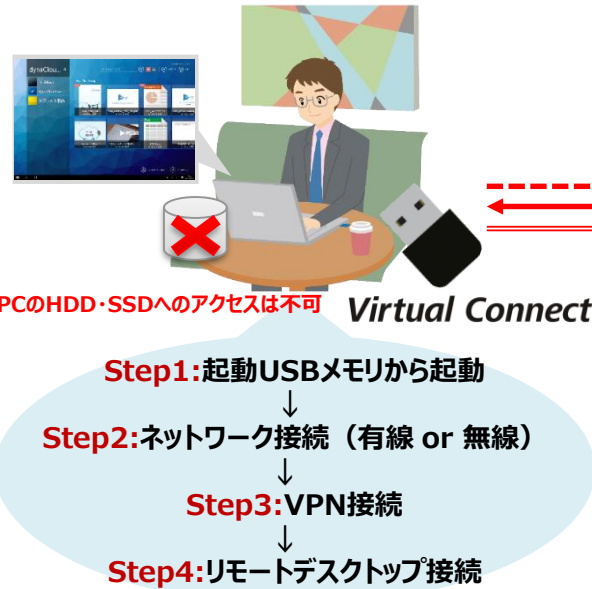
- 既存の環境を生かしてシンククライアントを導入したい
- テレワークでセキュリティを高めたい
- 在宅ワークなど多様なワークスタイルに対応したIT環境を導入したい
- 緊急事態に備えて業務が継続できるソリューションを検討したい

※本製品は、日本国内でのご使用をお願いいたします。

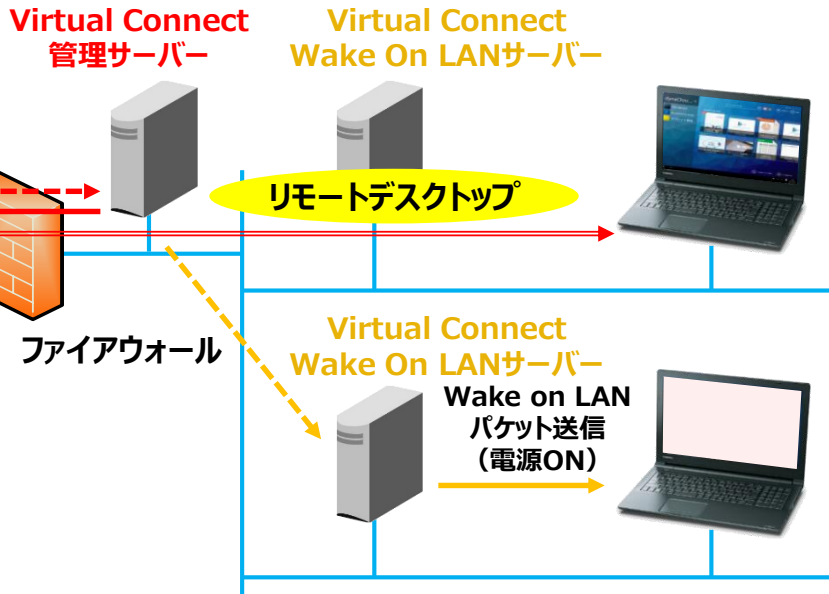
本カタログ掲載商品の価格には、配送費、設備調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

■システム構成

社外環境（出張先、自宅等）



社内環境



- 「Virtual Connect 本体」は、起動USBメモリからPCを起動して、ネットワーク接続⇒VPN接続⇒リモートデスクトップ接続で社内内のPCに接続します。また、起動USBメモリ内にクライアントPC接続情報を格納することにより、VPN接続時に入力した情報（ユーザー名、パスワード）に従って、接続先PCのIPアドレス、ログオンユーザー名を自動入力します。
- 「Virtual Connect 管理サーバー」をお客様環境内に設置することにより、起動USBメモリ内にクライアントPC接続情報を格納せずに、VPN接続時に入力した情報（ユーザー名、パスワード）と、あらかじめ管理サーバー内に登録されているリモートデスクトップ接続パラメータに従って、接続先PCのIPアドレス、ログオンユーザー名を自動入力します。
- 「Virtual Connect Wake On LANサーバー」をお客様環境内（ネットワークセグメント毎）に設置することにより、接続先のPCが電源OFFの場合、同一セグメント内の「Virtual Connect Wake On LANサーバー」からWake On LANパケットにより接続先PCの電源をONにします。

【動作環境】

- 接続先PC：Windows 8.1/Windows 10/Windows 11のいずれかで（Home除く）、リモートデスクトップ設定が有効であること。
- クライアントPC：USBメモリから起動可能で、Lubuntuの最新バージョンが動作するx86系64bit CPU搭載PC（メモリ2GB以上）
- 管理サーバー・Wake On LANサーバー：Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016/Windows Server 2019で、Microsoft SQL Server 2016以降（SQL Server Express含む）
- VPN環境：IKEv1/IPsec（Fortigate）、SSL-VPN（Fortigate）、L2TP/IPsec ASE128（YAMAHA）
L2TP/IPsec 3DES（Windows Server）、Cisco AnyConnect®（Cisco）、OpenVPN（Allied Telesis）、PPTP
- インターネット接続環境（有線または、無線接続）

- ※ ご導入にあたっては、事前にお客様環境にて検証をお願いいたします。詳しくは、弊社営業までお問い合わせください。
- ※ 本製品は、日本国内でのご使用をお願いいたします。本製品の海外への持ち出しは禁止いたします。本製品は、「外国為替及び外国貿易法」等日本国および米国ならびにその他諸外国の輸出、再輸出または輸入に関連する法令等により規制の対象となる場合がありますので、同法遵守のうえ、ご使用をお願いいたします。

■価格

Virtual Connect		
Virtual Connect 本体	42JSL260	オープン価格
Virtual Connect サポート	42JSL261	オープン価格
Virtual Connect カスタマイズ	42JSL262	都度見積
Virtual Connect 管理サーバー（オプション）		
Virtual Connect 管理サーバーソフト	42JSL264	オープン価格
Virtual Connect 管理サーバーソフト サポート	42JSBH87	オープン価格
Virtual Connect 管理サーバーソフト 構築	42JSL265	都度見積
Virtual Connect Wake On LANサーバー（オプション）		
Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト	42JSL266	オープン価格
Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト サポート	42JSBH88	オープン価格
Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト 構築	42JSL267	都度見積

- ※「Virtual Connect 本体」をご購入いただくことで、標準設定の起動USBメモリをご提供いたします。必要数分ご購入下さい。
- ※「Virtual Connect 管理サーバーソフト」、「Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト」をご購入いただくことで、各サーバーのソフトウェアをご提供します。必要数分ご購入下さい。なお、サーバー（ハードウェア、OS）、各サーバーを構築するための構築メニューのご購入が必須です。
- ※「Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト」を使用する場合、「Virtual Connect 管理サーバーソフト」が必要になります。
- ※初年度は、「Virtual Connect 本体」、「Virtual Connect 管理サーバーソフト」、「Virtual Connect Wake On LANサーバーソフト」の他に、それぞれのサポートメニューのご購入が必須です。各サポートメニューは、各ライセンスの数量と同数分のご購入をお願いいたします。
- ※各サポートメニューは、ご購入いただいた期間が経過し、引き続きサポートをご利用になる場合は、更新していただく必要があります。
- ※各サポートメニューは、ご契約期間中下記のサポートをご提供します。
 - ＞ 使い方・操作方法・仕様の確認、トラブルシューティング（障害切分）の対応
 - ＞ バージョンアップソフトウェアのご提供

●Microsoft、Microsoft Teams、SQL Server、Teams、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。●Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の商標です。●Cisco、Cisco AnyConnectは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.あるいはその関連会社の登録商標または商標です。●OpenVPNは、OpenVPN Inc.の商標です。●YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標または商標です。●Allied Telesisは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標または商標です。●その他の本カタログに記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。■写真はすべて本カタログ用に撮影したもので、実際の使用状況と異なる場合があります。■本カタログに記載された内容は改良のため予告なく変更することがあります。

Dynabook株式会社

本社 〒135-8505 東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント
国内サービス事業本部
https://dynabook.com/solution/security/virtual_connect/index.html



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書の「安心してお使いいただくために」等をよくお読みください。

本カタログ掲載商品の価格には、配送費、設備調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費用等は含まれておりません。

本チラシに記載されている数値および表記は2022年1月現在のものです。

管理番号：DBI-MEPNEA-20220101